

市議会だより

第71号

2021(令和3)年
11月10日発行



(元気に遊ぶ青空保育園の園児たち)【9月29日撮影】

令和3年9月定例会終わる

こんなことが決まりました	3
決算審査	5
委員会審査	7
市政を問う(一般質問)	8
委員会調査中	13



「マチイロ」アプリでスマホからも
議会だよりをご覧いただけます。



iOS



Android

三次市議会のホームページもご覧ください。

<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>

議会議中継の録画や過去の議会だよりも掲載しています。

三次市議会

検索



令和3年度 一般会計予算の補正(第5号)

補正額 1億2,487万4千円追加

総額 380億3,448万8千円

■主な使い道

～令和3年7月の大雨による災害復旧に係る経費～

- | | |
|----------------------|---------|
| ・ 現年災害公共土木復旧事業 | 6,788万円 |
| ・ 現年災害単独土木復旧事業 | 5,000万円 |
| ・ 現年災害林業施設復旧事業 | 600万円 |
| ・ 現年災害その他公共・公用施設復旧事業 | 79万4千円 |

ほか

議案の詳しい内容についてはこちら→



補正予算の概要はこちら→
8月補正予算をご覧ください。



議員定数等調査特別委員会からアンケートのお礼

10月10日から10月31日まで実施していた「市議会に関するアンケート」について、たくさんの市民の方にご協力いただき、ありがとうございました。いただいたご意見は、今後の議員定数等調査特別委員会で参考とさせていただきます。また、集計の後にはホームページや市議会だよりに掲載する予定です。

議会報告会・懇談会は出張型でお受けします

今年度も開催を予定しておりました「議会報告会・懇談会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応のため、従来通りの開催については、中止とすることといたしました。

地域の各種団体が実施されているサロンや講座、会議等を対象とし意見交換を行う出張型については、ご希望があった場合に、感染症対策について協議した上で実施してまいります。

お問い合わせ:三次市議会事務局 政務調査係
TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110



こんなことが決まりました

新設された条例

■三次市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例

全員一致

一部改正された条例

■三次市コミュニティセンター設置及び管理条例の一部を改正する条例

PICK UP 賛成多数

■三次市企業立地等を重点的に促進すべき区域における市税(固定資産税)の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

全員一致

■三次市放課後児童クラブ設置及び管理条例及び三次市子ども集会所設置及び管理条例の一部を改正する等の条例

PICK UP 全員一致

■過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

全員一致

その他の議案

■工事請負契約の一部変更について

全員一致

■辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について(2件)

全員一致

■工事請負契約の締結について

全員一致

■三次市過疎地域持続的発展計画の策定について

全員一致

■人権擁護委員の候補者の推薦について(3件)

PICK UP 全員一致

PICK UP

- 三次市コミュニティセンター設置及び管理条例の一部を改正する条例
八次コミュニティセンター移転整備に伴い、八次コミュニティセンターの位置を変更するもの。
・三次市畠敷町1722番地1 → 三次市畠敷町1860番地1
- 三次市放課後児童クラブ設置及び管理条例及び三次市子ども集会所設置及び管理条例の一部を改正する等の条例
八次コミュニティセンター新築移転に伴い、既存のコミュニティセンター及び八次児童館を一体的に改修し、八次子ども集会所として設置するとともに、八次小学校舎内にある2つの児童クラブを八次子ども集会所へ移転し、集約するため。
・「八次子ども集会所」の設置、児童クラブの集約に伴う名称及び位置の変更
- 三次市人権擁護委員の候補者の推薦について
伊藤 弘(青河町) 小豆原 伸貴(君田町) 田村 健(甲奴町)
(任期は令和4年1月1日から3年間の予定)

詳しい議案の内容についてはこちら↓



9月定例会 審議結果 (全員一致以外のもの)

○…賛成 ×…反対

区分	会派	審議結果																								
		ともえ	明日への風			真正会			会派 未来		清友会	公明党	日本共産党	市民の声	三創会											
		小田	新家	弓掛	藤井	月橋	掛田	藤岡	徳岡	増田	杉原	齊木	鈴木	横光	竹原	大森	新田	穴戸	保実	山村	黒木	中原	伊藤	重信	山田	
議案第71号 三次市コミュニティセンター設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○





横光議員

反対 本条例改正案は、現在建設中の八次コミュニティセンターの位置を改正する条例案だ。三次市立学校設置条例第3条別表第2に示す八次中学校の位置も同じ番地だ。現地を確認すると、それぞれの施設の敷地は約2メートルの段差があり、進入路は70メートルも離れている。双方の施設は、行政の所有であるとはいえ、全市民が活用される施設と教育施設で使用目的が異なる。一般的に考えれば、敷地に段差があり、区分分けが出来て、使用目的も異なる施設は同じ番地にすべきではない。既存の条例の中には、同じ地番に目的の異なる市の施設も設置されていることも存じているが、平地で道路からの進入路も同じであり、二つの施設はすぐ隣に設置している。今後、行政として造成を行う場合、それぞれの敷地に地番を定めて段差がある敷地が同地番にならないよう事務事業を執行されるよう強く願う反対討論とする。



保実議員

賛成 新しい八次コミュニティセンターは、地域住民が長年待ち望んだ施設だ。議案第71号は、供用開始の最後の重要な議案であり、否決することは供用の遅れに直結する。地域の安全安心のため、少しでも早く供用を開始してほしいというのが民意だと認識している。

また、複数の公共施設が同じ住所という事は全国的にもよくある。本市も三次市立図書館と、三次市福祉保健センターが同じ住所だが、今まで市民から問題があったということは聞いたことがない。二つの住所を分けるために、どれだけのマンパワーと期間、経費がかかるのか甚だ疑問だ。施設の供用を遅らせてまで反対すべきものなのか。平成30年7月豪雨により、甚大な被害を受けた当地域においての1日も早い供用開始を第1に考えるべきだと申し添え、賛成討論とする。



杉原議員

反対 災害時における避難所としての機能は我々も議決してきたので、当然その重要性はわかっている。この条例は住所に関する条例で、施設の供用を遅らせようといった趣旨での反対ではない。もちろん無駄はよくないが、もっと無駄が削減できることはあると思っている。我々がこの施設を否定して供用開始を遅らせようという趣旨ではなく、設置管理条例に対する反対討論だ。



竹原議員

賛成 地域住民からすれば、昔から太郎丸池があり中学校があるというのは、十分認識している。地域の声としても問題があるという提起は受けていない。そこに何があるかということは皆知っており、同一地番に行政の異なる施設が建設されても問題がない。何の不都合もないというのが、地元の意見だ。住民に周知をすれば問題なく、何の不都合もないと思う。よって、別番地に設定する必要はないということで、賛成の討論とする。

令和3年度 一般会計予算の補正(第6号)

補正額 2億7,896万9千円追加

総額 383億1,345万7千円

■主な使い道～令和3年8月の大雨による災害復旧に係る経費～

・現年災害農業施設復旧事業	7,000万円
・現年災害公共土木復旧事業	6,800万円
・現年災害単独土木復旧事業	5,500万円
・現年災害農地復旧事業	3,500万円
・水防対策事業	1,686万9千円
ほか	

令和3年度 一般会計予算の補正(第8号)

補正額 7,450万円追加

総額 398億9,498万3千円

■主な使い道

◆中小企業者月次支援金事業	7,450万円
---------------	---------

◆は新型コロナウイルス感染症対応分

令和3年度 一般会計予算の補正(第7号)

補正額 15億702万6千円追加

総額 398億2,048万3千円

■主な使い道

・過年災害農業施設復旧事業	2億円
・道路橋梁維持管理(除雪対策)	1億5,000万円
・現年災害公共土木復旧事業	5,000万円
・小規模市道整備事業(道路修繕)	7,100万円
◆新型コロナウイルスワクチン接種事業	2,854万円
・林道整備事業	1,982万円
・排水ポンプ場長寿命化整備事業	1,766万1千円
・産地生産基盤パワーアップ事業	550万円
・市営十日市墓地ブロック塀改修事業	541万1千円
◆教育支援体制整備事業	101万8千円
◆新型コロナウイルス感染症対策事業	100万円
ほか	

補正予算の概要はこちら→
9月補正予算をご覧ください



決算審査

令和2年度決算を認定

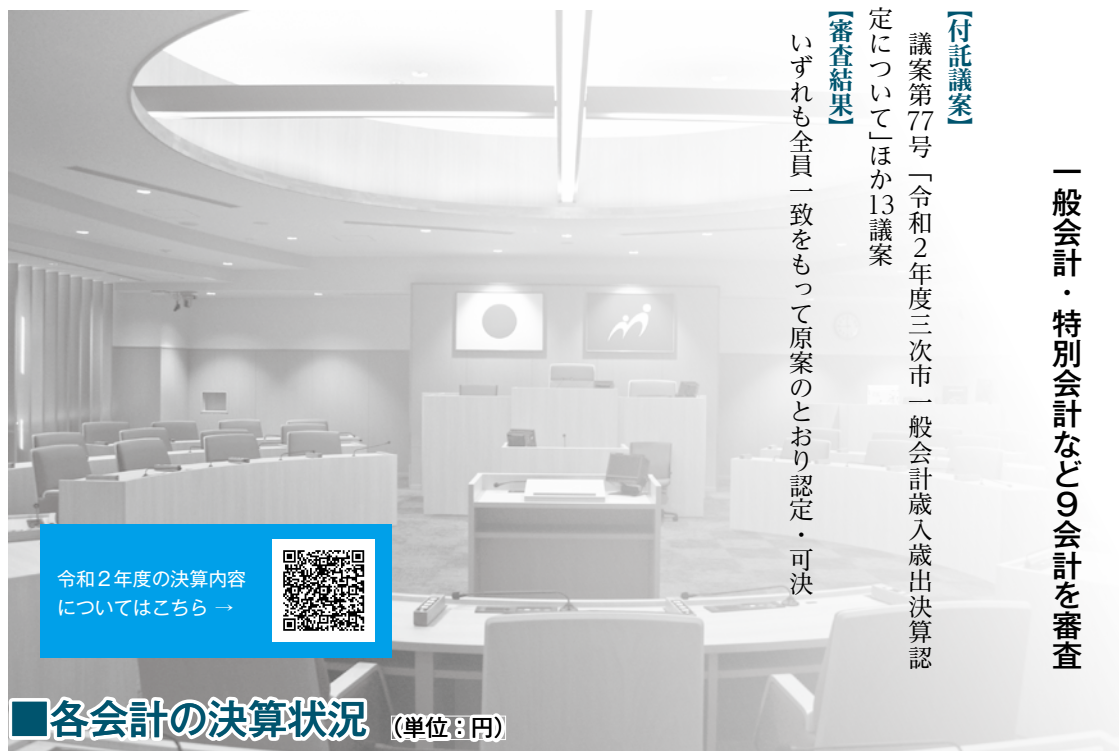
一般会計・特別会計など9会計を審査

付託議案

議案第77号「令和2年度三次市一般会計歳入歳出決算認定について」ほか13議案

審査結果

いずれも全員一致をもって原案のとおり認定・可決



令和2年度の決算内容
についてはこちら →



各会計の決算状況 (単位:円)

会計名		歳入	歳出	差引
一般会計		46,079,070,507	44,844,278,811	1,234,791,696
国民健康保険特別会計		5,295,386,570	5,292,840,988	2,545,582
診療所特別会計		182,424,971	182,424,971	0
介護保険特別会計		6,860,279,999	6,773,883,559	86,396,440
後期高齢者医療特別会計		845,977,992	832,710,907	13,267,085
土地取得特別会計		126,562,238	126,562,238	0
病院事業会計	収益的収支	9,851,474,783	9,239,964,489	611,510,294
	資本的収支	2,259,435,000	2,432,001,001	
水道事業会計	収益的収支	1,839,999,873	1,712,246,955	127,752,918
	資本的収支	1,180,111,686	1,888,961,884	
下水道事業会計	収益的収支	2,194,928,316	2,172,814,574	22,113,742
	資本的収支	984,221,440	1,507,938,187	

新たに自由討議を取り入れました

予算決算常任委員会では、9月定例会から委員間による「自由討議」を取り入れました。

※自由討議とは

執行部への質疑とは異なり、議員間で異なる意見を出し合うことで論点を整理し、議題に対する理解を深めようとする討議。

各分科会では1〜2つのテーマを設定して自由討議を行いました。自由討議を行う決算審査のテーマは、一般・特別会計に関する「決算認定に係る事業別審査シート」から、また、企業会計は、「決算附属書類」から正副主査が選定し、テーマ毎に主査の進行で事業効果や今後の課題について自由討議を行いました。

全体会では産業建設分科会で取り上げた「街路事業費」について自由討議を行いました。



全体会自由討議の様子



各分科会の自由討議テーマ 及びまとめられた意見

■ 総務分科会

- 施設管理経費
- 生活交通経費

総務分科会は「施設管理経費」について、三次市公共施設等総合管理計画に掲げる公共施設「3分の1」削減に向けて、引き続き努力すること。また、合併後間もなく導入した指定管理者制度について第三者の視点も取り入れた検証が必要ではないかという意見があった。

「生活交通経費」については、費用対効果の観点から市民バスの見直しや重複した移動手段の整理統合、相乗りタクシー制度の利用条件緩和による交通空白地域の解消、役割を終えた一部の路線バスの廃止等、メリハリを付けた事業展開が必要ではないかといった意見、さらに行政として交通専門の組織体制を整えたいうえで再編に向けての実効ある取組を行うべきとの意見があった。

■ 教育民生分科会

- ごみ減量化推進経費
- 学校給食経費

教育民生分科会は「ごみ減量化推進経費」について、今後も美しい三次市を守っていくために、啓発、教育活動の継続と柔

軟な制度運用が必要であるという意見があった。

「学校給食経費」については、地元業者との調理業務委託の目的を再確認し、地元産農産物等の使用率の向上について取組を進められたいという意見があった。

■ 産業建設分科会

- 街路事業費

産業建設分科会は「街路事業費」について、全体の方針に基づく主要な整備に当たっては、所管の常任委員会等において設計の段階から、情報提供・説明等の報告を行うことが必要であった。今後は情報提供を的確に行うことに併せて、行政の責務として施設の安全性の確保に努める必要があるという意見があった。



太歳町に整備されたトイレ

予算決算常任委員長報告

決算認定に対する指摘 及び意見

「街路事業費」で整備したトイレをテーマとした全体の自由討議では、トイレ整備は観光客の周遊を促すために行われたもので、デザイン性・芸術性が尊重されており予算執行として適切であったという意見、公共の施設を整備するに当たってはユニバーサルデザイン、SDGsの観点に立つことが必須であり、この条件を満たす仕様となっていたか疑問であるといった意見が出された。

また、執行された予算がどのような効果をもたらすか、今後の検証が必要であるという意見や議会としてしっかり議論できていなかったと指摘する意見も出された。

これらの議論から、三次町を訪れる方にその楽しさと魅力を満喫していただくために、この施設の十分な活用、速やかな安全対策、積極的な検証を求めるものだ。また、全体の審査から、事業の進捗状況等を十分に精査し、多額の不用額が生じないよう努められたい。新型コロナウイルス関連の臨時的な予算について、引き続き広くスピード感のある執行となるよう取り組まれるとともに、行政課題の解決のため、AI等先進技術の活用について一層研究を進められたいとの指摘や意見があった。

次に、議案第86号「令和3年度三次市一般会計補正予算（第6号）（案）」については、安定的な財政運営のために今後も適正な財政調整基金等への積立について十分に検討するよう意見があった。

※ユニバーサルデザイン：できるだけ多くの人が利用できることを目指した建築・製品・情報などの設計のこと。

※SDGs（エスディージーズ）：持続可能な開発目標の略称。開発のための国際的な開発目標。

※AI（エーアイ）：人工知能。計算機科学の一分野。



予算決算常任委員長報告を行う穴戸委員長



委員会審査

各常任委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、9月9日～13日に各委員会を開催しました。

教育民生常任委員会 9月9日開催

【付託議案】

議案第92号「三次市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例（案）」ほか2議案

【審査結果】

議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【所管事務調査】

学校ICT活用事業について
※ICT（アイシーティ）：情報通信技術の略。通信技術を活用したコミュニケーション。



担当部から説明を受ける教育民生常任委員

産業建設常任委員会 9月10日開催

【付託議案】

付託議案なし

【所管事務調査】

次の項目について所管事務調査を行いました。
・「三次市観光戦略（案）」について
・令和3年8月大雨の被害状況を踏まえた災害復旧状況について



産業建設常任委員会現地確認の様子

【議案に対する指摘及び意見】

議案第74号「工事請負契約の一部変更について」は、二つの工事がコロナ禍において工期調整が困難であったことが招いた工事費の変更ではあるが、可能な限り様々な場面を想定したうえで、関係者等に疑問が生じることがないよう今後も的確な工事発注や事業の進捗に努められたい。

議案第94号「三次市過疎地域持続的発展計画の策定について」は、計画書（案）にもうたわれている人口減少・少子化の流れを緩和していくことが本市にとって最も重要な対策の一つだと言える。集落整備、移住・定住の促進、産業振興、教育の振興、また、故郷を離れず頑張っている若者への支援を含む人材育成の促進等、法の定める今後10年について本市の進むべき目標を見誤ることなく、関係者や関係機関との横軸連携をさらに広げ、持続可能な社会の構築に向けて一層の努力を期待している。

総務常任委員会 9月13日開催

【付託議案等】

議案第71号「三次市コミュニティセンター設置及び管理条例の一部を改正する条例（案）」ほか6議案

【審査結果】

議案第71号賛成多数をもって原案のとおり可決
議案第71号以外いずれも全員一致をもって原案のとおり可決



総務常任委員会議案採決の様子

委員会中継実施中

定例会では、1日1常任委員会のケーブルテレビ中継を実施しています。ぜひご覧ください。

※インターネット配信及び再放送は行っていません。



各委員長報告の全文はこちら



市政を問う



9月定例会では、10人が市政をただしました。質問と答弁の一部を紹介します。

また、ホームページでは**一般質問の日程や質問内容の一覧も公開しています**。議会終了後には会議録や本会議の録画映像もご覧いただけます。

詳細はこちらにアクセス [三次市議会](#)

一般質問一覧



- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 中原 秀樹 (公明党) | 6 増田 誠宏 (明日への風) |
| 2 山田真一郎 (三創会) | 7 鈴木深由希 (真正会) |
| 3 弓掛 元 (ともえ) | 8 杉原 利明 (真正会) |
| 4 月橋 寿文 (ともえ) | 9 新田 真一 (会派 未来) |
| 5 徳岡 真紀 (明日への風) | 10 宍戸 稔 (清友会) |

危機管理課の職務は多く、今の体制では臨機応変な対応は難しいのではないかと。緊急時においては、指揮命令に徹する事で、今以上に他の部署との連携が強くなり、それが市民の安心安全につながると思うがご所見を伺う。

質問2 緊急時の対策本部運営について伺う

仮設ポンプの配置場所の中には、車で待機できない箇所もあるので、国のモデル事業を活用して簡易な TENT 等の備品類を整備しようと考えている。

答弁1 備品類も整備していきたい

川村危機管理監

8月の大雨における排水活動は、行政としても長期戦になることは予測できたと思う。しかし、ずぶ濡れになりながら任務にあたっていた水防団に、市として負担を軽減する為の対策は、どのようにされたのか伺う。

質問1 長期にわたる水防排水活動に対しての安全対策について伺う

なかはら ひでき
中原 秀樹
公明党

動画



大雨での排水作業は長時間にわたることも

6月1日に洪水想定訓練を行い、災害対策本部の運営の検証も行った。今回の災害対応では確実に訓練の成果が発揮されたと考えている。引き続き全庁的に連携し、常に改善を重ねながら、確かな災害対応ができるよう努めていきたい。

答弁2 全庁的に連携し、常に改善を重ねながら適確な対応に努めたい

川村危機管理監





質問1 鳥敷救急内水排水機場のポンプはなぜ故障したのか

8月の豪雨時に鳥敷救急内水排水機場のポンプが長時間にわたり停止した。天気予報も精度が上がっており、なぜ事前に対処出来なかったのか。近隣の方々への情報提供がないが、市からの情報発信はこのままで良いのか。

答弁1 国において詳細を調査中である

川村危機管理監

故障の原因を国土交通省に確認したところ、現在詳細は調査中とのことである。ポンプの故障について住民に音声告知放送等により知らせてはいないが、消防団が常に内水の状況を把握していた。国土交通省の排水ポンプ車も待機したが、排水作業は不要だった。



排水機場のポンプが一部停止した

質問2 避難所にコロナ検査キットの導入を

現在、避難所に入る時には検温のみをして入る。検査キットの精度はPCR検査には及ばないが、熱を測るだけよりは断然効果がある。より安全性が増し安心して市民の方々が避難できる場所となると思うがいかがか。

答弁2 精度や使用実績等を踏まえて検討したい

川村危機管理監

提案の検査キットについては、検査の精度、他での使用実績等を踏まえて検討したい。



質問1 稲荷町河川敷グラウンドについて問う

稲荷町河川敷のグラウンドが今年もまた浸水して、グラウンドの土が流出した。このグラウンドは子どもたちのスポーツを通しての健全育成に大変大きく貢献していると確信している。今後の整備についての考えを問う。

答弁1 具体的な方針は今後示したい

中原地域振興部長

今後も浸水被害を受ける可能性が高く、復旧は難しいと考える。稲荷運動場の代替地を含め、グラウンドの確保について関係部署と協議、検討している。稲荷運動場は、比較的被害が軽度な部分を一部仮復旧し、早期に使用できるように考えている。

福岡市長

昨今の気象状況を見ると、直しても再び浸水するリスクが非常に高くなっており、使用を続けることは困難だと判断している。子どもたちの健全育成に有効的なエリアなので、代替地の一部分を今年度の予算で用地交渉している。具体的な方針は今後示したい。

質問2 十日市西地区等の道路状況について問う

十日市西地区、鳥敷地区など住宅地の開発が先行して道路の整備が後手に回っている。溝と狭い道が混在して、大変不便であり危険である。早急な蓋掛け、フェンス取付などの整備でこの問題を解決すべきと考える。市の認識、考えを問う。

答弁2 今後も優先順位をつけながら整備を進める

秋山建設部長

開発が進むまでの計画的な改良も必要だが、既に住宅開発が進んでいる地区では、側溝の蓋掛けや離合場所の確保など、できることから対応している。今後も優先順位をつけながら整備を進める。



溝に蓋かフェンスを





消防団員の放水点検の様子

質問1

消防団員の処遇の改善は

消防団員へは、出勤・訓練その他活動の実態に応じた適切な報酬や手当が支給されるべきであるが、三次市消防団では、



答弁1

消防団と協議しながら検討したい

火災発生時に出勤手当の支給が無い。他市の状況も調査し、火災出勤時にも手当を支給すべきと考えるがいかがか。

川村危機管理監

質問2

高齢者スマホ教室開催の協力者は

スマートフォン本体と教室開催のマニュアルを用意し、企業や団体、例えば商工会や商工会議所の青年部などに開催を協力してもらえば、より多くの高齢者の方にスマホ教室が開けると思うがいかがか。

答弁2

協力いただける企業や団体がいれば、協議をしたと考えている

上谷情報政策監

行政だけで満足できる教室の開催やサポートを実施するのは困難なため、提案の内容や若者層との連携が実現できれば、より深くデジタル技術の利便性を感じていただけるものと考えている。協力いただける企業や団体がいれば、実現に向けた具体的な協議をしたいと考えている。

質問1

気候変動対策として森林バイオマス活用の考えは

気候変動を一因とした自然災害が年々深刻化している。三次市の面積の約75%を占める森林を活用した森林振興プランを作り、未利用の森林バイオマスを再生可能エネルギーとして、公共施設への導入等の活用を進めていく考えはあるか。



答弁1

多くの課題があると考えている

中廣産業振興部長

木材を木質バイオマスエネルギーとして活用するためには、施設の整備や未利用材の安定供給など、多くの課題があると考えている。地域、団体による里山林整備や森林・林業体験活動を通じて、森林・林業への興味、関心を高める普及啓発、森林の適正な整備等を引き続き行い、森林資源の有効活用を図っていききたい。

質問2

学校給食への有機農産物の導入の考えは

国が今年5月に示した『みどりの食料システム戦略』の中心的な政策として、有機農業の推進がある。本市でも、環境や人に配慮した持続可能な地産地消の有機農業に取り組み、新学校給食調理場で作られる給食において、有機農作物を導入する考えはあるか。

答弁2

供用開始と同時に導入することは厳しいものがある

甲斐教育次長

学校給食への導入は、供給体制の確立と小・中学校のPTA代表者等で構成される学校給食共同調理場運営委員会での審議が必要であり、現状では供用開始と同時に導入することは厳しいものがあると考えている。



北広島町芸北の温泉施設の薪ボイラー





市役所窓口の様子

質問1 市役所の土曜・日曜の窓口業務の今後は

土日窓口は証明書発行やパスポートの申請など、決して少ない利用者数ではない。廃止は市民の利便性の低下にならないか。また、マイナンバーカードの普及率が十分でないうちに、土日窓口を廃止するのは、時期尚早ではないか。

増田 誠宏
明日への風
動画

答弁1 働き方改革の面からも判断をしていきたい

矢野市民部長
永続的な職員体制の確保等の課題により、事業の継続が難しい状況だ。土日窓口サービスの見直し時期については、マイナンバーカードの普及率を見て判断するのではなく、職員配置等も含めた持続可能な提供体制が取れるかどうかに加えて、働き方改革の面からも判断をしていきたい。

質問2 少子化対策の一つとして、男性の育児休業取得促進を

子育てと仕事の両立の為、男性の育児参加は重要であり、男性の育児休業取得を促進していくべきだ。その為には、中小零細企業への職場環境整備を推進する必要がある。国や県による企業への助成金制度等の周知を図り、男性の育児取得を大きく後押しすべきでは。

答弁2 各種事業や制度の周知・啓発を行っていききたい

中廣産業振興部長
国、県の制度について、市ホームページでの紹介や、県のホームページへのリンク、雇用労働対策協議会の会員事業所、商工会議所や広域商工会の会員事業所等を通じて、各種事業や制度の周知、啓発を行っていききたいと考えている。

質問1 避難行動計画作成と防災教育を専門家から学んではどうか

命を守る為の避難行動計画「ひろしまマイ・タイムライン」を、家庭・地域・学校で作成する場合、支援が必要な人への対応や助け合い、他者とのコミュニケーション等を含む防災教育を防災アドバイザー・防災士に委ねてはどうか。

鈴木深由希
真正会
動画



川地小学校の避難所での様子(8月13日)

答弁1 分かりやすい普及指導を促進していく必要がある

川村危機管理監
「ひろしまマイ・タイムライン」は内容の充実した冊子だが、若干内容が難しく、取っつきにくい印象もある。地域

の方々に対しては、自主防災組織や防災士と連携し、分かりやすい普及指導を促進していく必要がある。

質問2 障がい者への通知のあり方を問う

障がいの有無に関わらず平等な情報提供は必須である。合理的配慮を義務づけられている行政が、障がい者の特性に配慮した文書通知を実行しない理由を伺う。市民から意見の回答について改善要望があるが、市民の声をどこまで知りたいか市民とどう向き合うか、市長の考えを伺う。

答弁2 迅速に情報提供できるような方策を検討したい

牧原福祉保健部長
全ての障害者に対応して通知を送りするのは非常に難しい状況だが、様々なツールを活用した対応は必要と考えており、可能な配慮は行っている。併せて、社会福祉協議会、障害者支援センターで相談や支援をできる体制を取っている。情報の提供の在り方については、今後も協議をし、様々な障害者に配慮して、迅速に情報提供できる方策を検討していきたい。

福岡市長
市民の声は、市政運営をする上で非常に重要であると思っている。今後重要事項や、優先順位等々も考慮しながら、市民の声に寄り添った市政を進めていけるよう取り組んでいきたい。



質問1
市は学校統廃合の具体的計画を示せ

学校は地域や親の工コのためにあるのではない。子どもたちのためだ。子どもたちにとつて最適な教育環境を整えるのは行政の使命だ。児童数の減少が著しく、既に規模適正化の検討を始める段階にきている学校もある。小中学校の統合を行っていくべきだ。基準を示し、児童生徒数の推計から対象の学校名も明記した統合計画を示すべきでは。

答弁1
協議を進めている

令和8年度までの市内小・中学校別児童生徒数の推移表なども勘案して、適正な規模及び配置について協議している。地域の方、保護者に情報提供を丁寧に行い、子どもたちに最適な教育環境について、まずは話し合いをしていくことを見通して協議を進めている。

迫田教育長

質問2
新教育長の教育ビジョンを問う

新しく見直す三次市教育ビジョンに期待する。新教育長はとりわけ、どういった人物を育て、そのためにどういったことに力を入れていかれるのか。

答弁2
三次を大切に思う気持ちを持つよう育てたい

教育大綱の基本理念にある「自立」「協力」「貢献」を体現する人物を育てたいと考える。とりわけ子どもには、社会の急激な変化や、教育の変革の状況を踏まえ、画一的で規格化された教育ではなく、一人ひとりの状況に応じた学びや、友達や地域の方などと一緒に考えたり協力したりする学びを充実させるとともに、ICTを効果的に活用した取組を進め、三次を大切に思う気持ちを持つように育てていきたいと考えている。

迫田教育長



学校規模適正化の答申と
現みよし教育ビジョン



質問1
依然進まぬ学校現場の超過勤務の解消

働き方改革の法施行から3年目を迎える。学校現場では長時間労働の是正に向け、教育委員会が指針・具体策も示された。コロナ禍での行事や部活動の縮小、研究会の中止もされたが、超過勤務の現状はほとんど変わっていない。要因は何か。また効果が上がらないのなら指針・具体策も見直しが必要ではないか。

答弁1
必要なところへ必要な手だてを講じることを徹底したい

小・中学校の勤務時間の上限に関する方針で示している取組を徹底したい。長時間の超過勤務の報告があった職員については、教育委員会から校長に確実に聴き取りを行って、具体的な改善方策の指導、助言を行う。これまでも学校の状況把握をしながら、指針に則り取組を進めている。今後もしっかり状況把握をし、必要なところへ必要な手だてを講じることを徹底していきたい。

迫田教育長

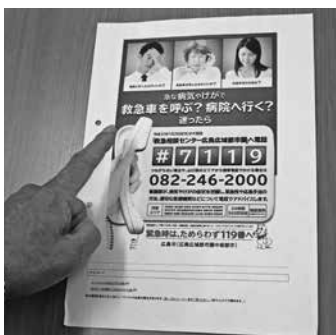
質問2
救急相談センター開設の周知徹底を

広島広域都市圏への参加により救急総合センターが導入され救急相談の電話窓口（#7119）が開設される。現在ある小児救急の窓口（#8000）もあわせて市民への周知をどう進めるか伺う。

答弁2
相談ができる体制をしっかりとPRする

広報みよし9月号に掲載して周知した。三次市の公式SNSを通じた周知も図っていく。医師の指導を仰いで助言をすることもあるため、医師が関わっていることもPRしていく。また、市立三次中央病院の24時間小児救急、三次市休日夜間急患センター、県が行っている小児救急の相談ダイヤル#8000番等もあるので、それぞれの受診、相談体制の明確化を図り、適切な救急受診が図られるような啓発に努める。

牧原福祉保健部長



救急相談センターの周知を





質問1 三次市観光戦略で安易な組織体制づくりは禍根を残す

観光戦略の策定に至る背景、何が課題であり、何を重点点に取り組もうとしているのか。DMOと各観光協会の活動や役割は異なり、単純に一緒になれば良いというものではない。各観光協会を解消し、DMOに統合することに戸惑う声は大きく、理解されないまま進められているのではないか。

※DMO(ディーエムオー)：観光地域づくり法人。地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人。

答弁1 議論を重ねる中で理解いただきたいと考えている

中廣産業振興部長
本市の観光の現状分析と各組織の役割分担を明確にし、関係者が同じ方向を向き一体となって取り組むため、新たな観光の方針として戦略を策定することとした。戦略に示す「めざすべき観光推進体制」や、観光に結びつく事業は、新たな組織と連携して必要に応じて支援をしていくことを、各観光協会と議論を重ねる中で理解をいただいていると考えている。

質問2 国と県管理の河川改修に強い要望活動を望む

昨年、今年と連続して、国・県管理の河川が氾濫し、農地等への被害が発生している。災害復旧では氾濫は防げない。堤防高を上げる等の河川改修の強い要望活動を行うべきと考えるがいかがか。



河川改修の強い要望を

答弁2 被災者・被災地に向いて、今後也要望活動を行っていききたい

秋山建設部長
中国地方整備局や県に対して主要事業提案活動による河川改修要望や、県北部建設事務所や三次河川国道事務所との事業調整執行会議において事業要望、また広島県内陸部振興対策協議会などあらゆる機会を通じて要望を行っている。

福岡市長
現場を確認し、その上で今後どのような形で要望していくか組み立てたい。単に要望しているわけではなく、現場の職員一人一人が被災地に行き、現場を確認し、写真を撮り、それを基にどう要望を行うか、被災者・被災地に向いて、今後も要望活動を行っていききたい。

委員会調査中

委員会では、所管事務調査や閉会中の継続審査を実施しています。今回はその様子をご紹介します。

●教育民生常任委員会

令和3年8月23日と10月5日に障害者団体等との意見交換会を実施しました。

委員からの一言：ご本人やご家族の立場から日常生活で困っていることや行政への要望など、意見交換をしましたが、私たちが普段の生活では気づかないことが様々な場面であります。助け合いの中から障害への理解を、より多くの市民へ広げていく必要があると考えます。



障害者団体との意見交換会の様子



増田委員

●産業建設常任委員会

令和3年9月10日に所管事務調査で災害現場等の現地確認を行いました。

委員からの一言：8月の大雨による被害状況を委員会で視察しました。大田幸町のため池決壊現場と市道上安田210号線崩落現場を自分たちの目で見て、肌で感じました。本委員会は、観光・商業・土木・農業・水道など担当しておりますが、現場主義を貫きスピード感をもって対応します。



月橋委員



貯留施設の工事現場を建物から確認



大雨の被害を受けたため池を確認

リモート de 議会活動

三次市議会では、コロナ禍の対応として、ICT を活用したリモートでの活動も実施しています。

リモート視察受入

10月18日に茨城県つくばみらい市の視察をリモートで受け入れました。当日はWeb 会議サービスZoom を利用して、つくばみらい市の議場と三次市役所の会議室を繋ぎました。

三次市議会としては初めての試みでしたが、事前に資料を相手先にメールでお送りし、当日はテレビモニターやスピーカーマイク等の機器を使用することで、リモートでも質疑がしやすい環境を整えることができました。

途中一時音声が途切れることもありましたが、コロナ禍においてリモートで行う視察に有効性を感じました。



モニターには、つくばみらい市の議場の様子が映っている



議長あいさつの様子

リモートミーティング

三次市議会では議員1人に1台貸与しているタブレット端末を使用してミーティングを行う等、少しずつリモートの取組も実施しています。



会議室から議員の自宅を繋いだミーティング

コロナ禍において、密になることや地域間を移動することなく活動ができる取組について、今後も調査研究を行い、実践していきたいと考えています。



質疑を受ける執行部

スマホやパソコンでも



(((議会配信中!)))

三次市議会 インターネット配信 検索



インターネット
配信ページ

■ 議会中継・録画配信

開会日は中継を配信！
会議後には録画もアップ
しています。

■ アプリ マチイロ

みよし市議会だよりがアプリで読めます。
ぜひご利用ください。

※アプリ利用料は無料ですが、情報の受信には
通信料が必要となります。

運営：株式会社ホープ／福岡市



iOS



Android

議長の定例会見を実施しました

定例会での審議等の総括、議会日程等を広く市民の皆様にお伝えするため、定例会最終日に議長の定例会見を実施しました。

1 令和3年9月定例会の総括

(1) 決算審査について

- 会派代表総括質疑を市長の総括説明質疑に統一
- 予算決算常任委員会は、昨年に引き続き審査資料にシートを用いて審査
- 委員会審査に自由討議、今後も審査方法の見直しに取り組み改善を図る

2 議員定数等調査特別委員会について

- アンケート調査を実施



議会のうごき

2021(令和3)年
8月1日～10月31日

8月

- 2日 第3回臨時会、議会運営委員会、全員協議会、広報広聴常任委員会
- 19日 議員定数等調査特別委員会
- 23日 教育民生常任委員会
- 24日 議会運営委員会
- 25日 市議会トピックス(教育民生常任委員会)

9月

- 2日 議会運営委員会、議員定数等調査特別委員会
- 3日 9月定例会本会議、予算決算常任委員会、広報広聴常任委員会
- 6日 9月定例会本会議(一般質問)、総務常任委員会、議会運営委員会
- 7日 9月定例会本会議(一般質問)
- 8日 9月定例会本会議(一般質問)、全員協議会
- 9日 教育民生常任委員会
- 10日 産業建設常任委員会
- 13日 連合審査会、総務常任委員会
- 15日～23日 予算決算常任委員会
- 24日 予算決算常任委員会、議会運営委員会、議員定数等調査特別委員会
- 27日 予算決算常任委員会(総務分科会、教育民生分科会、産業建設分科会)
- 28日 予算決算常任委員会
- 29日 市議会トピックス(広報広聴常任委員会)
- 30日 議会運営委員会、9月定例会本会議、議会運営委員会

10月

- 5日 教育民生常任委員会
- 18日 広報広聴常任委員会
- 20日 会派代表者会議
- 25日 広報広聴常任委員会
- 27日 市議会トピックス(予算決算常任委員会)

行政視察受入状況

10月18日 茨城県つくばみらい市(リモート)

「あっちこっち三次」市議会トピックスのコーナーに出演中

三次市議会では、三次ケーブルビジョンで放送している「あっちこっち三次」市議会トピックスのコーナーに毎月1回出演しています。毎回各常任委員会等から2人出演し、取組等を中心に議会活動を市民のみなさんにお知らせします。

スタジオから生放送で議会情報をお届けしますので、ぜひご覧ください。

チャンネル：111ch

番組名：あっちこっち三次(市議会トピックスのコーナー)

放送時間：17時30分～(生放送)、再放送あり

放送日：毎月第4水曜日(放送日は予定です。) 詳細はこちら↓

出演予定：11月 産業建設常任委員会

12月 総務常任委員会

1月 正副議長

※放送日、出演予定等に変更になる場合があります。

※番組内容や放送に関することは三次ケーブルビジョンへお問い合わせください。

株式会社三次ケーブルビジョン

TEL:0824-65-2211

FAX:0824-65-0066





今回の定例会は
12月3日(金)
に開会する予定です。

請願・陳情の提出は、11月19日(金)正午まで
陳情・請願 市政についての意見や要望を直接市議会に提出すること。
議員の紹介のあるものを請願と言います。

第5回

傍聴者に聞いた! 「傍聴ってどうだったのか!!!」

9月定例会を傍聴に来られた方にインタビューしました。なぜ傍聴したの? どうだった? ? これを参考にみなさんも議会を傍聴してみませんか?

傍聴のきっかけは何ですか?



中原委員



形川さん

興味のある質問があったので傍聴に来ました。

傍聴の感想を教えてください!



中原委員



形川さん

傍聴は4回目くらいなのですが、国会と同じような雰囲気ですね。予定調和的な感じよりも、自身の言葉で熱意をもった答弁が聞きたいと思います。

いつも傍聴ありがとうございます。
議会の発展のため参考にさせていただきます。



中原委員



傍聴のきっかけは何ですか?



徳岡委員



西田さん

質問の確認と内容が知りたかったので来ました。

傍聴の感想を教えてください!



徳岡委員



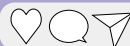
西田さん

熱意のあるやりとりがあってよかったです。やはり馴れ合ったやりとりはイマイチだなと思っています。

ありがとうございました。
貴重なご意見ありがとうございます。



徳岡委員



インタビューと議会だよりへの掲載を快諾していただいたみなさま、ありがとうございました。今回はスペースの関係で、インタビューを受けてくださった方全員を掲載することができず申し訳ありません。

三次市議会では、傍聴者の間隔を空けるなど、感染症対策を実施して傍聴してもらえるようにしています。ケーブルテレビでの放送やインターネット配信も実施していますので、そちらもぜひご覧ください。

ご意見やお問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179

FAX 0824-62-6110

Eメールアドレス

gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp

あとがき

本定例会から委員会審議が「自由討議」になりました。これまでは市の執行部に対して質疑をし、賛成反対それぞれ意見述べて採決していました。自由討議では議員個々が議案に対して意見を述べ、他の議員の意見に対しても批判・反論ができることになりました。委員会で、論点対抗軸が少し明確でなかった部分もありましたが、議員の意見に対して反論を述べる場面もあり、少し緊張感も増しました。議員相互に意見を交わすことにより、議案についての視点が広がり課題も新たにはっきりしたこともありました。今後、自由討議が相互批判・反論・説得・納得のサイクルで議論が深まるよう、わたしたちも資料検証・論点整理等努力する必要があります。(新田真一)



注目スポット



吉舎町敷地「吉舎農山村広場」

女子野球タウンに認定された三次市。今後宿泊や大会誘致で「女子野球の聖地」を目指します。その中で、吉舎農山村広場を拠点に中学女子野球チーム「プレイブガールズ」が産声を上げました。将来、三次市に女子硬式野球のクラブチーム誕生の礎になるよう、応援したいと思います。

(藤井憲一郎)